

熊本市議会
[市民連合]

みなさん、こんにちは
市議会だよりです

2013年夏号
(通算 No.185)
(発行) 市民連合
市議会だより編集部
[議員室] TEL(096) 328-2650
FAX(096) 324-7777

第2回
定例会

国の補正「地域の元気臨時交付金」74億円余に
防災や経済対策関連事業に充当

第2回定例会は、6月6日(木)から開催され73議案を可決・承認し、6月21日(火)に閉会しました。予算案件では、一般・特別会計補正予算案を審議し、国の補正予算(75億8,800万円余)で創設された「地域の元気臨時交付金」(45億円余)を活用し、県・市予算を含めた経済対策など計74億2,093万円の予算を可決しました。結果、本年度の予算規模は、一般会計2,923億7,947万円、特別会計1,987億9,102万円、企業会計822億9,079万円。予算6件以外では、市職員給与を平均7.1%削減する条例など12件、人事14件、意見書4件など、計73議案を可決しました。

幸山市長が職員の不祥事で陳謝

6月6日の開会日、幸山市長は冒頭、横領事件などの職員の不祥事についての、お詫びと報告を行いました。今後の対応として「管理監督責任の厳格化」「過去の不祥事の教訓を風化させない取り組み」「現金を取り扱わない仕組みの構築」の3つを柱とする改善方針を定め、適正な事務処理の徹底に努め、市政の信頼回復に向けて取り組んでいく決意を述べました。

条例議案の主なものとしては、職員や市長などの給与削減の条例の他に、「地域の元気臨時交付金」の残金30億6,726万円を積み立てる「熊本



▲南消防署建設と防災のために、消防車両購入に予算がついた

市地域の元気基金の条例)や「再生可能エネルギーの固定価格買取制度」導入に伴ない、事業者が本市の公共施設の屋根等を使用することができるようにするための「熊本市太陽光発電のための公共施設の屋根等の使用に関する条例」などの制定が可決されました。

補正予算の主な事業内容は以下の通りです。

■国の「地域臨時交付金」等活用の経済対策関連【防災関連事業】

- 消防車両購入経費(3億308万円)
- 農業関連一般土地改良、灌漑防除事業(2億3,300万円)

【教育・子ども関連事業】

- 小中学校の音楽室・特別支援学級への空調設備設置設計経費(4,300万円)

【文化スポーツ関連事業】

- 横井小楠記念館の空調改修費等経費(2,208万円)

【その他の事業】

- 区役所・総合出張所等施設改修経費(1億3,007万円)
- PM2.5の測定器3台の設置経費(1,760万円)

■県の基金活用の経済対策

- JA等が実施する共同利用施設等の整備助成(19億2,701万円)
- 保育士等の処遇改善に対する助成(2億9,400万円)

■経済対策関連以外の部門別事業

【健康福祉部門】



▲熊本市電のICカード導入について予算がついた

- 生活保護制度の基準改定に対応した関係システム改修経費(840万円)

【環境部門】

- 国連「生命の水」最優秀賞受賞記念シンポジウム開催経費(200万円)

【農水商工部門】

- 低コスト耐候性ハウス整備助成(8億6,640万円)

【観光文化交流部門】

- 熊本城復元整備基金積立金(1,620万円)

【都市建設部門】

- 水前寺江津湖公園の用地取得経費(2億300万円)

【消防部門】

- 消防司令管制システム機器設置経費(1億1,741万円)

【教育部門】

- 特別支援学級支援員配置経費(2,180万円)
- 学校給食会への運営費助成(1,560万円)

【企業会計】

- 市電ICカード導入経費(1億5,836万円)

【一般質問】

市民連合からは、西岡誠也議員が登壇し、「持続可能な社会の実現」「公共サービスのあり方」などについて、鋭い質問を行いました。

採択された意見書

- 地方交付税削減に対する意見書
- 義務教育費国庫負担制度の拡充に関する意見書
- 国庫負担による義務教育「少人数学級の早期拡充」に関する意見書
- 「原発事故子ども・被災者支援法」に基づく具体的

的施策の早期実施を求める意見書
※今回採択された意見書は、すべて市民連合提出の意見書です。ただし、「解雇の自由化など労働者保護の規制緩和に反対する意見書」は不採択となりました。

第2回定例会(6月議会) 常任委員会 予算決算委員会 各分科会 報告

総務委員会 田尻将博 西岡誠也

①国からの一方的な地方公務員賃金7.8%分の地方交付税削減に伴い、一般職員の賃金平均7.1%、市長他、特別職は10~20%削減すること、また不祥事に伴い、7月の報酬を市長が全額、副市長は30%カットを議論。自治体固有の財源である交付税を一方的に削減すること、すでに熊本市は5年間で賃金を7.2%

カットしていることから、反対の主張をした。7月の市長の全額カットについては、不祥事が再発しない対策を行うことが重要であると指摘した。②県の消防再編に伴い益城町と西原村が熊本市に委託することの条例案を審議。現在の高遊原消防職員は熊本市消防の職員となり、熊本市が両町の消防活動にあたる。

企画教育市民委員会 東すみよ 上田芳裕

企画教育市民委員会では、国の元気臨時交付金を活用し「出張所等の市施設の改修」や、「小中学校の音楽室・特別支援学級への空調設備設置」等の補正予算2億7千万円余について、審議するとともに、特に、教育委員会で昨年度から検討されてきた食材費高騰による「小中学校給食費の値上げ」に対して議論

が行われた。給食に関わる食材費は、1食あたり小学校で210円、中学校で260円を保護者が負担している。わが会派では、13年間値上げがなく、栄養価を高め、安全安心を維持するために、一定の値上げはやむを得ないと思うが、保護者への十分な説明と適正な給食費となることを強く求めた。

福祉子ども分科会 福永洋一

委員会では、補正予算案3件・条例案4件の審議と、「行財政改革計画の進捗状況」「障がい者の移動手段の支援のあり方に関する検討状況」「市民病院立替え工事等の設計業務」などについて報告があった。予算関連の審議では、国の経済対策としての「保育士等処遇改善臨時特例事業」について、保

育士の賃金アップなど、実効性を高めるために行政としてのチェック体制強化などを要望した。また、障がい者の移動手段の助成事業について「燃料費助成券」の創設検討に伴い、現行の複数の選択制度を「ひとつのみ」とする検討方針に対して、利用者の生活実態に即した複数選択制とすることを要望した。

環境水道委員会 家入安弘

■環境水道委員会報告/新設された原田のパークゴルフ場の指定管理者の指定については、利用促進のため地元住民や市民への周知に努めてほしい。■環境水道分科会報告/国連から「生命の水」最優秀賞を受賞した本市の水資源の素晴らしさを、市民や国内外に広報・啓発活動を努めてほしい。硝酸窒素による

地下水汚染問題の解決は、県と地下水財団などとの連携した広域的な取り組みが必要と要望。また「熊本市太陽光発電のための公共施設の屋根等の使用に関する条例」については、設置許可を受けた業者の倒産や施工不良も懸念されるので選定は慎重に。本市が直接売電事業をすることも検討すべきだと要望した。

経済委員会 田辺正信

農業生産振興事業、一般土地関連、経済対策関連、中小企業振興関連等、「地域の元気臨時交付金」による事業や、経済対策として県の「地域の元気基金」「安心子ども基金」「緊急雇用基金」を活用した、6事業約22億4千万円の事業等について説明がなされた後、質疑が行われた。その中で、スポーツに功績の

あった方に対する顕彰金や、イベントの実行委員会などの経費を横領した観光文化交流局職員の処分に伴う、関係部局のこれまでの対応やこれからの対策などについて厳しい指摘がされた。また、今問題になっている水前寺陸上競技場の改修についても各委員から、陸上競技場が抱えている問題について指摘がなされた。

都市整備委員会 田上辰也

市電への交通系ICカードの導入予算を審議した。導入にあたっては、利用者の利便性確保を第一に、市電とバスの相互利用カード導入へ向けた検討を、民間事業者へ働きかけるよう執行部に要請した。市道の認定について、個々の状況に応じて、柔軟に対応できる認定業務のあり方を検討して

ほしいと要望した。桜町・花畑地区再開発事業の附帯決議に関する特別委員会が設置されたことについて、すでに中心市街地の活性化に関する特別委員会で審議されており、議会内部での意思疎通を十分に行えば、新たに設置する必要はなく、議会の責任は重いと指摘した。

みなさん
こんにちは

熊本市議会議員 田尻将博からあなたへ



総務委員会報告

総務委員会に所属しました 予算決算委員会の副委員長に 公金外現金の取り扱いなど対応方針決まる

第2回定例議会は6月6日から6月21日まで開催されました。

今議会から予算決算委員会副委員長に就任し、委員会の重責を担っています。

熊本市議会本議会では90分の持ち時間で一般質問を行います。一般質問は市長が提案している「予算」以外の市政に関する質問となり、予算に関しては「予算決算委員会」で提案、その後、各議員が所属する委員会の予算決算部会での審議を経て委員会で採決、さらに予算決算委員会の締めくくり質疑で予算を採決します。そして本会議最終日に予算、条例案など全議案に対し採決し執行となります。

今議会での主な案件は3月議会で予算が提案され保留、再度特別委員会で議論した「桜町・花畑地区再開発の事業」に関する特別委員会のまとめについての報告、10月から改定する小中学校給食費の改定に伴う補正予算、太陽光発電のための公共施設の屋根等の使用に関する条例の制定など、また、総務委員会関係では、熊本市長、議員、職員等の給与の特例に関する条例の制定(26年3月ま

で平均7.1%の減額)等について。消防広域化による高遊原南消防本部を管轄する益城町、西原村との消防事務を本市が受託する規約の制定でした。

報告事項として、第5次行財政改革基本方針について説明があり、市民の皆さんには各区役所で12月パブリックコメントなどが実施され、平成26年3月の議会で報告され、計画が策定されます。

次に、公金外現金の取り扱いに係わる今後の対応方針について、この件については公金外会計における不祥事を「起こさない」「起こさせない」「責任を明確にする」ことを基準化し徹底することが報告されました。



3月議会で予算が保留となった「桜町・花畑地区再開発事業」に関する特別委員会の報告がありました。

残暑お見舞い申し上げます 自民圧勝、再び政権交代



今年も例年なく暑い日が続いています。

議会だよりが遅れたことをお詫び申し上げます。

定例議会在、閉会した翌日の6月22日、ユネスコの世界遺産委員会が「富士山を世界遺産」に登録との一報が入り、日本の富士から世界の富士へと日本中が歓喜に沸きました。

私は、富士山は世界自然遺産と欲していました、自然遺産として推薦した10年前はゴミ問題などを理由に脱落、その後知恵を絞った政府は昨年、推薦内容を「自然遺産」から「文化遺産」に変えて再挑戦、その結果、富士山は世界文化遺産として、岩手の平泉に次ぐ認定を勝ち取りました。

その理由は、山岳信仰の対象であったこと、浮世絵など多くの芸術作品に描かれた日本の象徴として、文化的な価値が高いと評価され、世界文化遺産として登録されました。今回の登録までのプロセスを見ますと、富士山は自然が生んだ険しい富士山と、日本人を心の中から支えている富士山があり、富士山が成した集大成に見えてきました。

また、いったんは脱落した富士山を、日本国民のために世界遺産を勝ち取る手段として、自然遺産から文化遺産への戦略変更には感動しました。世界一の富士山にするため、この10年間の政府と地元行政の努力が、目的達成のための戦略変更こそが世界文化遺産富士山の誕生と思います。

政治も同じです。4年前、国民の期待を背負い民主党政権が誕生しました。そして初の2大政党による政権交代が実現し、日本の政治が変わると期待されましたが、首相就任早々から金銭問題や内部抗争、それに政権運営の未熟さに加え、未曾有の東日本大震災などへの対応の不備に国民が怒り、その結果が衆参院選挙の惨敗であり、もう一度時間をかけて戦略を練り、政権交代ができる政党に成長し、出直しを期待するものです。

議員活動記

史跡池辺寺跡を歴史公園として永久保存へ 新幹線で日帰り歴史探訪の遊歩道づくりも企画

今回から「議員活動記」は、校区のまちづくりの体験活動を連載します。

私の校区には全国でも珍しい国指定の史跡池辺寺跡(1200年前の寺跡)が池上町平地区にあります。この池辺寺跡が歴史公園として永久保存のための公園建設が始まりました。

私たち自治協議会まちづくり委員会も歴史公園建設の後方支援部隊として、まちづくり事業を企画し活動を始めました。

事業の目的は、池辺寺歴史公園の知名度アップと西区の活性化です。新幹線を利用し「自然と歴史探訪」の日帰り観光ができる遊歩道づくりを企

画しています。

建設中の池辺寺歴史公園は、新幹線熊本駅西口から4.8km、万日山トンネルを抜ければもうそこは西山山麓の緑の世界、1200年前にタイムスリップした自然と歴史の町、池上町へと入ります。

歩いて熊本駅西口から万日山トンネル、池上町仁王堂、堂床、平集落そして池辺寺歴史公園までの市道4.8kmを観光遊歩道に指定し、その道沿いに味生の池堤防跡、中間地点には、西山山麓の模型200分の1程度の「ジオラマ」を出現させる計画を立てています。

すでに、池上橋から池辺寺歴史公園までの2kmの市道沿線に肥後桜70本を植樹し、池辺寺夢桜街道の建設や、1200年前の三重塔跡の堂床に「味生の池展望台」造りも進めています。

遊歩道の復路は、平地区から上高橋を下る山道を利用し、バスで熊本駅へ帰るルートを予定しています。

身近な地域に国指定の池辺寺跡があります。ぜひ散歩で行ける距離です。1200年前にタイムスリップを経験して下さい。



熊本市西区池上町にある1200年前に存在した池辺寺跡(史跡)は「池辺寺歴史公園」として工事がスタートした。

◆故ジョン・レノンの名曲「イマジジン」は「平和な社会や暮らしを想像してごらん」と歌い上げ、世界各国で愛唱されている。この想像力が日本人には欠けていると、識者は指摘する。NHKの原研特集番組で関東地方の視聴者がメールでこう言った。「福島の人には悪いけど原発は必要だ」ということになり、◆安倍総理はアベノミクスの第三の矢を発表したが、大企業や大都市をさらに強くすることによって、中小企業や地方都市におこぼれが流れるという成長戦略だ。なんのことはない強者の論理であり、そこには貧困層や低賃金で働いている「社会的弱者」への目配りが無い。安倍総理は大企業に賃上げを要請したが、最低賃金の引き上げには一言もふれない。裕福な家庭で育った総理には、少ない収入でやりくりしながら、スーパーのチラシに目を通して、少しでも安い価格の食料品を買う人たちの想像や思いには想像力が働かないのだろうか。想像力が乏しい人は人間としての資質や心が貧しい人といえる。◆この想像力を働かせるには、普段から「現場に行く、現場を見る、現場の声を聞く」という「三現主義」を実践し、多くの経験を積み、客観的に物事を判断していくことだと思っている。



市政に関するご意見やご相談、また地域のご要望などはお気軽にどうぞ!

熊本市議会議員 田尻 将博

〒860-0061 熊本市西区上高橋2丁目8番16号
TEL329-4339 FAX329-4778
http://www.masahiro-chan.jp
E-mail:masahiro-tajiri@tkz.bbq.jp

手取本町161